

支出項目

政務活動費

研修・会議費

No.1

4 月	年度 日	内容	支出額 (円)	累計額 (円)
7	11	マニフェスト大賞2022キックオフ研修会 「ローカル・マニフェストで地域から日本を変える」	5,000	5,000
11	4	第9回 自転車利用環境向上会議inさいたま	5,440	5,440
		研修・会議費合計	10,440	

政務活動報告書

令和5年3月31日

茅ヶ崎市議会議長
加藤 大嗣 様

(会派名) 絆・新しい風
(氏名) 木山 耕治

政務活動の結果は、次のとおりでした。

日 時	令和4年7月14日(木)
目的 地 (研 修 地)	ZOOMによるオンライン参加
政務活動の結果 別紙のとおり	



マニフェスト大賞2022キックオフ研修会「ローカル・マニフェストで地域から日本を変える」研修レポート

表題につきまして、先日受講のについての研修に関する報告をいたします。

記

1. 研修の名称：マニフェスト大賞2022キックオフ研修会「ローカル・マニフェストで地域から日本を変える」
2. 研修会場：オンライン研修（Zoomアプリケーションによる）
3. 研修日時：令和4年7月14日
4. 研修参加者：全国都道府県市区町村議員・職員・大学教授など
5. 研修内容：

第一部 出産・子育てが政治参画の障壁とならない議会の法規・環境整備の取組
「コロナ禍の議会とオンラインの可能性」

鎌倉市議会議員・出産議員ネットワーク・子育て議員連盟 久坂くにえ

第二部 ICT・AI・住民・議会による新しい民主主義を推進「議会愛」
取手市議会事務局次長阿見町議会改革アドバイザー 岩崎弘宜

第三部 「議案のカルテ」はインターネット上の議会報告会
町田市議会議員 戸塚正人

第四部 「まちづくり」は「人づくり」
長野県高森町長 壬生照玄

第五部 よこはま自民党による市民参加型プラットフォーム「Decidim」による新たな市民との政策形成 横浜みらい創生プラットフォーム
横浜市議会議員 黒川勝

第六部 会派マニフェストと政策形成のPDCAサイクル推進
横須賀市議会会派よこすか未来会議 高橋英昭

第七部 会派マニフェストの作成意義と効果について
公明党岡山市議団 林敏宏

第八部 公開討論会の拡がりとしティズンシップ推進～取り組みの成果と展望～
公益社団法人日本青年会議所2022年度社会グループベビーファースト委員会委員長
新田洋太朗

6. 研修での習得事項および感想

戦後の日本は実質経済成長率が毎年10%以上成長するような時代があり、政治においては「あれもこれも」できた時代でもありました。政治家の選挙時の公約は口約束のようなものになっていた時代でもあると思います。しかしバブル崩壊移行、失われた30年とも言われるように、1992年以降は低成長期に入り、日本は低成長か無成長、または衰退するといったいわゆる「成熟社会」へと変容しました。政治においても「あれもこれも」から「あれかこれか」にシフトし、限られた予算をどういった政策、事業に配分していくのか、そういった選択と集中をしなければ前に進めることはできない時代に入っていることは間違いありません。

そんな社会情勢の中で首長・議員の選挙において、立候補者が当選後に何をするのか、何をするために立候補するのかといったいわゆる公約・マニフェストを掲げることは、予算の選択と集中の方向性を有権者に明確にする上で非常に重要です。しかし公約については、当選後の検証がされていないケースが全国の地方公共団体における首長や議員、また国政においても未だに多く散見されます。首長・議員は選挙後、公約実現のために何をしたかなどの検証をし、その結果を市民にわかりやすく公表することが重要です。有権者もその実績を次期の選挙での判断材料にすることができるようになるため、結果非常にオープンな選挙、オープンな政治となると考えます。

今まで通りの前例踏襲型の政治ではなく、未来志向の政治を進めるためには政治の新陳代謝が必要であり、そのためには市民が首長や議員の活動を正當に評価をできる仕組みづくりが必要です。そのためには首長や議員が積極的に公約を掲げることと、それを検証し市民に公表するといったサイクルが非常に重要であるということ、を、本研修で学ばせていただきました。

茅ヶ崎市議会は今現在「市民に開かれた議会」を目指し、市民との意見交換会の開催、SNSを活用した広報など広報広聴機能の拡充を図っていますが、議員一人一人がこれまで以上に公約に対する意識を醸成させることができれば、市民に開かれた議

会をさらに推し進める原動力になるだけでなく、議会機能そのものの強化に繋がるのではないかと思いました。公約、マニフェストの重要性について今後も引き続き調査・研究してまいりたいと思います。

7.14 (木)

13:00-17:00

早稲田大学
井深大記念ホール

マニフェスト大賞 2022 キックオフ研修会

「ローカル・マニフェストで
地域から日本を変える」

2022/7/14 マニフェスト大賞2022キックオフ研修会 (@早稲田大学 & オンライン配信) 「ローカル・マニフェストで地域から日本を変える」

詳細

マニフェスト大賞2022キックオフ研修会 (2022年7月14日@早稲田大学 & オンライン配信)

「ローカル・マニフェストで地域から日本を変える」を開催します!

● オンライン配信/後日レコーディング動画限定※配信あり

※事前にお申し込みいただいた方には後日、当日の研修会を収録したレコーディング動画を配信します。当日の参加が難しい場合でも、ご関心ありましたら是非お申し込みのご検討をよろしくお願いいたします。

マニフェスト大賞は、地方自治体の議会、首長、市民等による、地域の民主主義向上に資する優れた取り組みを互いに競い合うように進める「善政競争」を目指しています。

本研修会では、昨年マニフェスト大賞グランプリを受賞した出産議員ネットワーク・子育て議員連盟をはじめ、首長部門のマニフェスト推進賞受賞の壬生 照玄・長野県高森町長、ローカル・マニフェストを軸にした改革を進めてきた会派、そして議会改革のトップランナーたちが登壇し、「ローカル・マニフェストで地域から日本を変える」をテーマに多めに発信・提起します。是非、ご参加ください。

【開催概要】

日 時 : 7月14日 (木) 午後1時から5時まで
会 場 : 早稲田大学 井深大 記念ホール
オンライン配信あり
会場定員 : 先着200名様
参加費 : 議員5,000円、一般2,000円 (市民・議会事務局職員など)
申込期日 : 7月10日 (日) - 12日 (火) まで
主 催 : マニフェスト大賞実行委員会、ローカル・マニフェスト推進連盟
共 催 : 早稲田大学マニフェスト研究所

【注意事項】

※1 開催手法、プログラムは変更になる場合もあります。予めご了承ください。

- ※2 ご参加方法等のご案内をメッセージで開催日前日までに送付します。
- ※3 登壇者資料がある場合のみ、事前または事後にデータにて提供します。
- ※4 領収書についてはこちらをご確認ください> 領収書にアクセスする (<http://help-attendee.peatix.com/ja-JP/support/solutions/articles/44001821741>)
- ※5 チケットのキャンセル返金手続きについてはこちらをご確認ください> 主催者にチケットのキャンセルを依頼する (<http://help-attendee.peatix.com/ja-JP/support/solutions/articles/44001822284-%E4%B8%BB%E5%82%AC%E8%80%85%E3%81%AB%E3%83%81%E3%82>)

続きを読む (javascript:void(0))

- 社会貢献/地域活性
- 地域活性
- 社会課題
- 社会貢献
- まちづくり
- 地方創生

追加情報

イベント詳細情報を更新しました。差分 2022-07-07 07:26:31

過去の更新

コメント0件


並び替え

コメントを追加...

Facebookコメントプラグイン

2022/07/14 (木)

13:00 - 17:00 JST

 カレンダーに追加

会場 井深大記念ホール

チケット

【会場】 議員	¥5,000
【会場】 一般 (市民、自治体職員等)	¥2,000
【オンライン】 議員	¥5,000
【オンライン】 一般 (市民、自治体職員等)	¥2,000

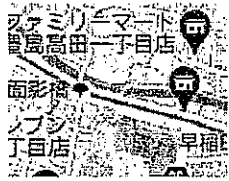
【ご招待、取材等】※要事前連絡

販売期限: 2022/07/13 0:00:00

※コンビニ / ATM でのお支払いは、2022/07/12 で締め切られます。

会場住所

新宿区西早稲田1丁目20-14 日本



主催者

ローカル・マニフェスト推進連盟

フォロワー数: 860



主催者へ連絡

グループをフォロー

[PR] おすすめ情報

関連イベント

7月
14

木曜日 19:00 (9 日間)

オンライン

空き家活用セミナー「自分でつくる! 地域
を変える空き家活用」 ※オンライン限定
開催

主催: 株式会社ジェクトワン「アキサボ」

7月
14

木曜日 19:00

オンライン

「本のある空間」が本の未来をひらく 株
式会社ひらくの挑戦【QUINTBRIDGE現地
交流会あり】

主催: QUINTBRIDGE

7月
16

土曜日 11:00

オンライン

今こそリーダーは、
発揮する知的バーバ
主催: イノベーターシッ
ム2022 by 多摩大学

社会貢献/地域活性

地域活性

社会課題

社会貢献

まちづくり

地方創生

[特集] トレンドを学ぶ、自分を磨く。ビジネスセミナー・イベント情報 >

領収データ - 2022/7/14マニフェスト大賞2022キックオフ研修会 (@早稲田大学&オンライン配信) 「ローカル・マニフェストで地域から日本を変える」

発行日

2022年7月12日

宛名

絆・新しい風

合計

¥5,000

但し

研修会参加費として

注文日

2022年7月11日

注文番号

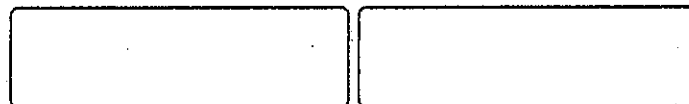
17052749

主催者

ローカル・マニフェスト推進連盟事務局 (ローカル・マニフェスト推進連盟)

イベント名

2022/7/14マニフェスト大賞2022キックオフ研修会 (@早稲田大学&オンライン配信) 「ローカル・マニフェストで地域から日本を変える」





マニフェスト大賞 2022 キックオフ研修会

「ローカル・マニフェストで 地域から日本を変える」

JUL 14 2022/7/14 マニフェスト大賞2022キックオフ研修会 (@早稲田大学 & オンライン配信) 「ローカル・マニフェストで地域から日本を変える」

イベントは終了です (木) 13:00 | 新宿区西早稲田1丁目20-14 | By ローカル・マニフェスト推進連盟

社会貢献/地域活性

地域活性

社会課題

社会貢献

まちづくり

地方創生

マニフェスト大賞2022キックオフ研修会 (2022年7月14日@早稲田大学 & オンライン配信)

「ローカル・マニフェストで地域から日本を変える」を開催します！

● オンライン配信/後日レコーディング動画限定※配信あり

※事前にお申し込みいただいた方には後日、当日の研修会を収録したレコーディング動画を配信します。当日の参加が難しい場合でも、ご関心ありましたら是非お申し込みのご検討をよろしくお願いいたします。

マニフェスト大賞は、地方自治体の議会、首長、市民等による、地域の民主主義向上に資する優れた取り組みを互いに競い合うように進める「善政競争」を目指しています。

本研修会では、昨年マニフェスト大賞グランプリを受賞した出産議員ネットワーク・子育て議員連盟をはじめ、首長部門のマニフェスト推進賞受賞の壬生 昭玄・長野県高森町長、ローカル・マニフェストを軸にした改革を進めてきた会派、そして議会改革のトップランナーたちが登壇し、「ローカル・マニフェストで地域から日本を変える」をテーマに多岐に発信・提起します。是非、ご参加ください。

【開催概要】

日時：7月14日(木) 午後1時から5時まで
会場：早稲田大学 井深大 記念ホール
オンライン配信あり
会場定員：先着200名様
参加費：議員5,000円、一般2,000円(市民・議会事務局職員など)
申込期日：7月10日(日)~12日(火)まで
主催：マニフェスト大賞実行委員会、ローカル・マニフェスト推進連盟
共催：早稲田大学マニフェスト研究所

【注意事項】

- ※1 開催手法、プログラムは変更になる場合もあります。予めご了承ください。
- ※2 ご参加方法等のご案内をメッセージで開催日前日までに送付します。
- ※3 登壇者資料がある場合のみ、事前または事後にデータにて提供します。
- ※4 領収書についてはこちらをご確認ください。領収書にアクセスする
- ※5 チケットのキャンセル返金手続きについてはこちらをご確認ください。主催者にチケットのキャンセルを依頼する
- ※6 主に行政機関等、Peatix対応が困難で請求書による支払い対応が必要な場合は、下記より請求書発行の手続きをお願い致します。>請求書払いで申込みをする(決済の関係で事後のご対応になる場合もご相談ください。)

【プログラム】(2022年7月11日時点予定:順序変更・一部登壇者変更あり)

13:00-13:25 基調講演

北川 正恭氏(早稲田大学名誉教授/元三重県知事)

「マニフェスト20年~ローカル・マニフェストで地域から日本を変える」

13:25-13:50 実践発表 (15分発表+10分質疑応答)

久坂くにえ氏(出産議員ネットワーク・子育て議員連盟、鎌倉市議会議員)

🎫 チケット

【会場】議員
¥5,000 受付終了

【会場】一般(市民、自治体職員等)
¥2,000 受付終了

【オンライン】議員
¥5,000 受付終了

【オンライン】一般(市民、自治体職員等)
¥2,000 受付終了

【ご招待、取材等】※要事前連絡
満席

📅 日時

2022/07/14 (木)
13:00 - 17:00 JST
カレンダーに追加

📍 場所

井深大記念ホール
新宿区西早稲田1丁目20-14 日本
[地図を見る](#)

「出産・子育てが政治参画の障壁とならない、議会の法規・環境整備の取り組み」

14:00-14:15 実践発表

岩崎 弘宣氏 (取手市議会事務局 次長)

「ICT・AI・住民・議会による新しい民主主義を推進」

14:15-14:30 実践発表

戸塚 正人氏 (町田市議会 議長)

「『議案のカルテ』はインターネット上の議会報告会―『議案ごと』にカルテを制作・公開」

14:30-14:45 質疑応答 (岩崎様、戸塚様への質疑応答)

14:55-15:20 実践発表 (15分発表+10分質疑応答)

壬生 照玄氏 (長野県高森町長) (※オンライン登壇→会場登壇)

「住民との『約束』をチェックする―町長マニフェストの評価・検証―」

15:20-15:35 実践発表

黒川 勝氏 (横浜市議会議員、よこはま自民党)

「マニフェストを起点とした新たな市民との政策形成」

15:35-15:50 実践発表

高橋 英昭氏 (横須賀市議会議員、よこすか未来会議)

「会派マニフェストと政策形成のPDCAサイクル推進」

15:50-16:05 質疑応答 (黒川様、高橋様への質疑応答)

16:05-16:20 実践発表

林 敏宏氏 (岡山市議会議員、公明党岡山市議団) (※オンライン登壇→会場登壇)

「会派マニフェストの作成意義と効果について」

16:20-16:35 実践発表

新田 洋太郎氏 (公益社団法人日本青年会議所ベビーファースト委員会 委員長)

「公開討論会の拡がりとしティズンシップ推進～取り組みの成果と展望～」

16:35-16:50 質疑応答 (林様、新田様への質疑応答)

16:50-17:00 総括/クロージング マニフェスト大賞応募開始にむけて

北川 正恭氏 (早稲田大学名誉教授/元三重県知事)

草間 剛氏 (マニフェスト大賞実行委員長/横浜市議会議員)

～終了後～ 会場にて名刺交換タイムを設けます。

以上

問い合わせ

ローカル・マニフェスト推進連盟事務局

(早稲田大学マニフェスト研究所内/担当: 亀井・山内)

〒162-0041

東京都新宿区早稲田鶴巻町517 ドラード早稲田402

メールアドレス: manl@maniken.jp

電話: 03-6709-6739 ファックス: 03-6709-6752

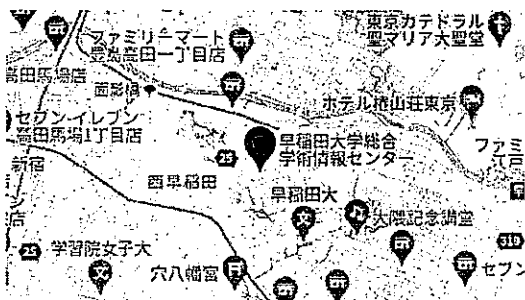


主催者

ローカル・マニフェスト推進連盟

フォロワー数: 1,211

フォロー



政務活動報告書

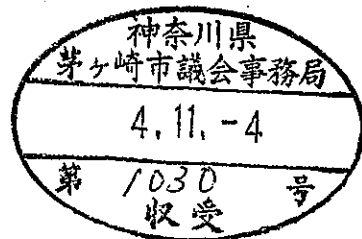
令和4年11月4日

茅ヶ崎市議会議長
加藤 大嗣 様

(会派名) 絆・新しい風
(氏名) 山田 悦子

政務活動の結果は、次のとおりでした。

日 時	令和4年11月4日(金)
目的 地 (研 修 地)	RaiBoC Hall (さいたま市民会館おおみや) 〒330-0846 さいたま市大宮区大門町2-118 大宮門街4-8F
政務活動の結果	別紙のとおり



第4回全国地方議員ネットワーク

in

さいたま

視察報告書

2022年11月4日(金)

絆・新しい風 山田えつこ

■ 会議概要

【会議名】 「第4回全国自転車地方議員ネットワーク in さいたま」

【日時】 2022年11月4日（金）

【場所】 レイボックホール 6階 集合室

【会議内容】 全国から集まった議員たちが、自治体で開催しているイベントや自転車の取組みについて意見交換をした。

【添付資料】 話題提供資料 「特定小型動機付自転車について」
1) 自転車って何？
自転車活用推進研究会 大脇 鉄也

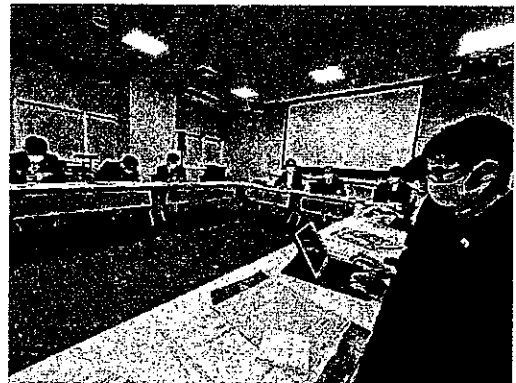
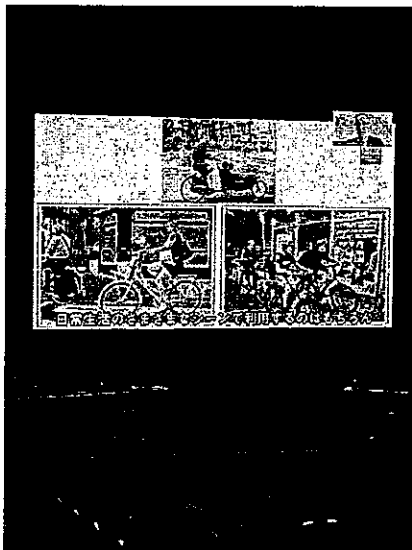
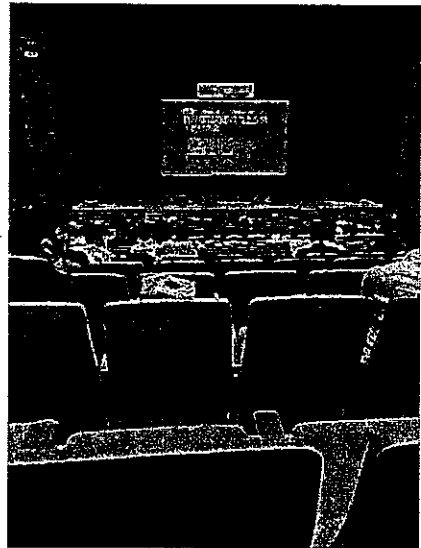
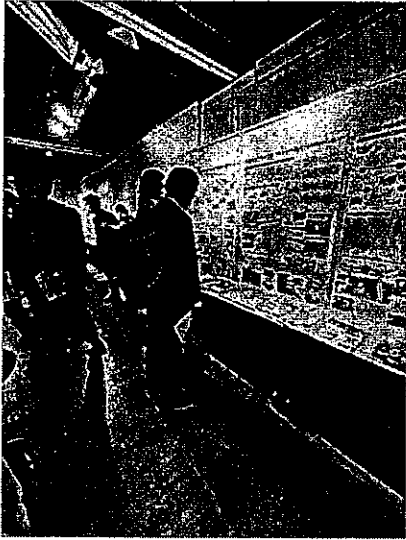
【茅ヶ崎市の概要】

- ・茅ヶ崎市は“自転車のまち”をシティプロモーションで掲げている。
 - ・茅ヶ崎出身の有名なプロロードレースの別府史之選手がおり、1年に1度市内で「ベロフェスティバル」を開催。
 - ・茅ヶ崎市内でのマナー、ルールの向上に取り組んでいる。
 - ・市民発信の「Keep Left Project」活動が特徴的です。
- ※別会場で「Keep Left Project」の発案者の南八重智子（みなみやえ ともこ）さんがポスターセッションをしいたので、紹介。他の皆さんに好評でした。

【他の参加自治体の様子】

11団体ほどが参加していましたが、自転車のイベントを実施している所は多く、自転車教室や自転車免許証の発行といったものが多く、マナー、ルールの取組み向上について課題とされていましたが、これといった特徴ある取組みは特にありませんでした。

■ イベントの様子



出張旅費計算書

適用	第9回 自転車利用環境向上会議inさいたま	会派	絆・新しい風			
期間	令和4年11月4日 1日	出張者氏名	山田悦子			
経路	日数	泊数	キロ数	運賃(円)	急行料金(円)	金額(円)
茅ヶ崎 — 大宮 JR東海道本線	1	—	88.9	1,520	—	1,520
大宮 — 茅ヶ崎 JR東海道本線	1	—	88.9	1,520	—	1,520
計	1	—	177.8	3,040	0	3,040
	日数		単価(円)		金額(円)	
日当	1		2,400		2,400	
参加費	1					
合計	¥5,440 ×		1人		¥5,440	

第4回全国自転車地方議員ネットワークinさいたま
「日常の自転車利用に目を向けよう」
日時：2022年11月4日（金）
場所：レイボックホール（6階）集会室1

話題提供

特定小型原動機付自転車について

自転車活用推進研究会
大脇鉄也

(1)「自転車」って何？


道路交通法における「自転車」の定義

自転車の定義 (その1)

— 道路交通法によれば (第2条第11の2号)


ペダル又はハンド・クランクを用い、かつ、人の力により運転する二輪以上の車(レールにより運転する車を除く。)であつて、身体障害者用の車椅子及び歩行補助車等以外のもの(人の力を補うため原動機を用いるものであつて、内閣府令で定める基準に該当するものを含む。)をいう。

シティー車




出典:ブリヂストンサイクル

電動アシスト
自転車




出典:経済産業省

三輪自転車




出典:ブリヂストンサイクル

スポーツ車




出典:ブリヂストンサイクル

タンDEM自転車




出典:国土交通省

リヤカー付き
配送自転車



出典:ヤマハ発動機


大型バスケット付き
自転車



出典:EUROBIKE


**全て
自転車**

キックバイク
ペダルで
進まない



出典:清原書房

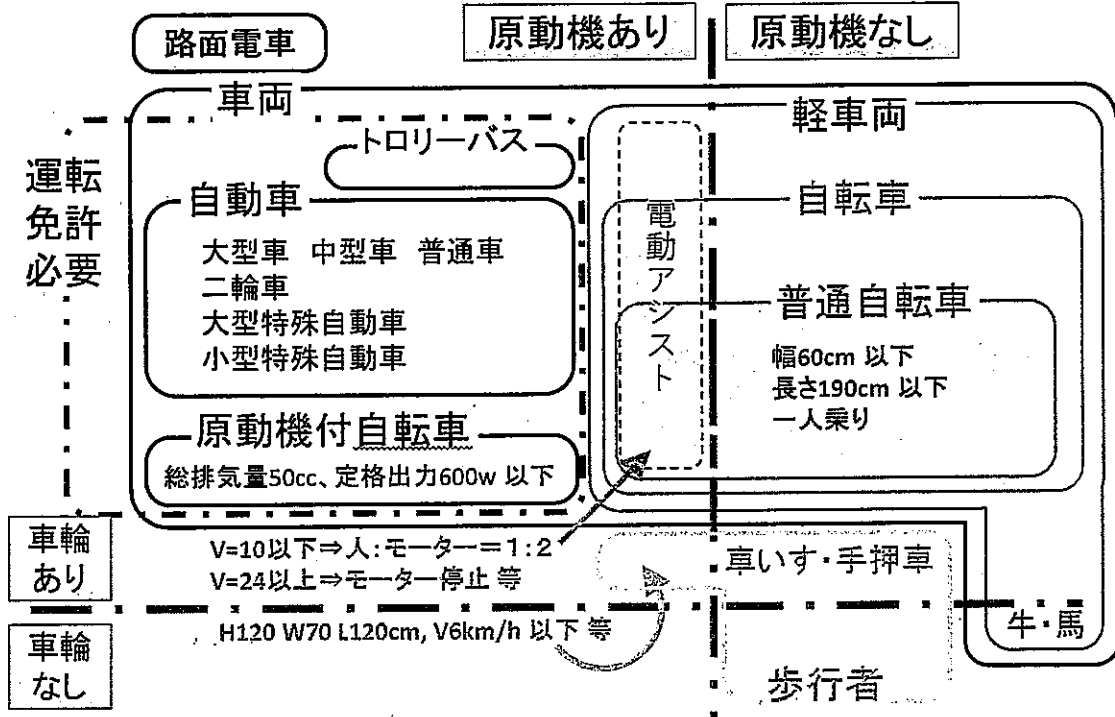
電動だけで
進む自転車
人の力を補う
基準に非該当



出典:本田技研工業

自転車の定義 (その2)

★道路上を行き交う人や乗り物は、次のように分類され、その通り方が決められている。



自転車の定義（その3）普通自転車って何？

— もういちど道路交通法によれば（第63条の3） —

車体の大きさ及び構造が内閣府令で定める基準に適合する自転車で、他の車両を牽引していないもの（以下この節において「普通自転車」という。）

（内閣府令）

長さ190cm、幅60cm、四輪以下、側車を付していない、一の運転者席以外の乗車装置（幼児用座席を除く。）を備えていない、制動装置が走行中容易に操作できる位置にある、歩行者に危害を及ぼすおそれがある鋭利な突出部がない

普通自転車

シティー車



出典：ブリヂストンサイクル

電動アシスト
自転車



出典：経済産業省

三輪自転車



出典：ブリヂストンサイクル

スポーツ車



出典：ブリヂストンサイクル

普通じゃない 自転車

タンデム自転車



出典：国土交通省

リヤカー付き
配送自転車



出典：ヤマハ発動機

大型バスケット付き
自転車



出典：EUROBIKE

普通自転車と(普通じゃない)自転車の違い

普通自転車と、(普通じゃない)自転車の規則の違いは、主に次の3点

(普通じゃない) 自転車は、

1. 一切、歩道を走れない。
2. 「一方通行（自転車を除く）」でも、逆走できない。
3. 自転車道を通る義務がない。

(2) 特定小型原付って何？

令和4年4月の改正道交法で定義され、2年以内（令和6年4月）までに解禁されるモビリティ

道路を通行する多様な乗り物（モビリティ）

	高速 20km/h以上	中速 6～20km/h程度	低速 6km/h以下
動力なし		自転車 ロードバイク <small>出典：ブリヂストンサイクル</small> 普通自転車 シティ車 <small>出典：ブリヂストンサイクル</small> 大型バスケット付き自転車 <small>出典：EUROBINS</small> 三輪自転車 <small>出典：ブリヂストンサイクル</small>	歩道通行可 (徒歩) ベビーカー <small>出典：日本育児</small> 車椅子 <small>出典：ダスキン</small>
動力あり	オートバイ <small>出典：経済産業省</small> 自動車 <small>出典：経済産業省</small>	リアカー付 電動アシスト自転車 <small>出典：経済産業省</small> 電動アシスト自転車 <small>出典：経済産業省</small> 特定小型原付(想定されるもの) フル電動自転車 <small>出典：経済産業省</small> 電動キックボード <small>出典：経済産業省</small>	電動車いす <small>出典：経済産業省</small> 歩道通行モード時(基準適合) <small>出典：国土交通省</small> 遠隔操作型小型車 <small>出典：香森庁</small>
	← 運転免許必要		← 運転免許不要 →

特定小型原付とは

★令和4年3月提出道交法改正法案の警察庁説明資料等によれば、

1 特定小型原動機付自転車(電動キックボード等)の交通方法等

- 最高速度や車体の大きさが一定の基準に該当する車両を「特定小型原動機付自転車」とする。
一定の＝内閣府令未制定。案)最高速度:20km/h、車体の大きさ:普通自転車同等
- 特定小型原動機付自転車の運転には運転免許を要しない。
- 16歳未満の運転は禁止
- ヘルメット着用を努力義務とする。
- 特定小型原動機付自転車は、車道通行を原則とする。＝車道上の自転車同等の交通ルール
- 交通反則通告制度及び放置違反金制度の対象とする。また、危険な違反行為を繰り返す者には講習の受講を命ずることとする。

2 特例特定小型原動機付自転車(歩道通行モード)の交通方法

- 特定小型原動機付自転車のうち、一定の速度以下に最高速度が制限されており、それに連動する表示がなされているものについては、例外的に歩道(自転車通行可の歩道に限る。)等を通行することができることとする。
一定の＝未制定。案)6km/h
連動する表示＝未制定。案)道路運送車両法に基づく保安基準(国土交通省令)とする。
保安基準＝緑色灯火の点滅

識別点滅灯火の設置目的について

識別点滅灯火の設置目的

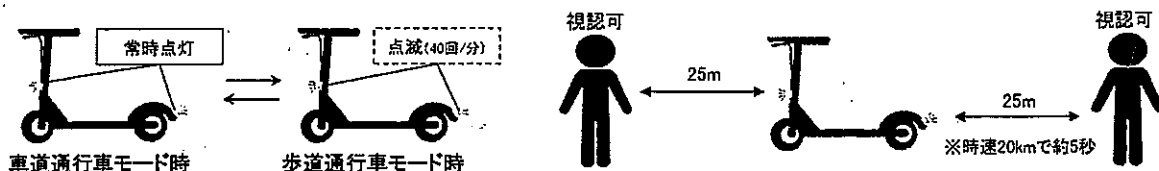
- 特定小型原動機付自転車への該当性や、当該特定小型原動機付自転車が改正後の保安基準に適合している旨を外観上容易に識別できるようにする。
- 特定小型原動機付自転車が一定の条件下で歩道等を通行できることを踏まえ、運転者が歩道通行車モードに設定していることを外観上容易に識別できるようにする。これにより、歩道等通行時における歩行者の安全確保を図る。

P1

技術基準(案)

1. 車体の前方及び後方25mの距離から屋間において点灯及び点滅を確認できるものであること。
(大きさや形状は問わない。前後2箇所に設置することも可)
2. 色は緑色であること。
3. 歩道通行車モードへの切替を行う車両では、設定中の車両区分に応じ、点灯・点滅が自動的に切り替わるものであること。具体的には、車道通行車モード時には常時点灯とし、歩道通行車モード時には40～60回/分の速さで点滅するものであること。
4. 取付位置は、地上0.4m以上(後方に備えるものを除く。)であって、前照灯との距離は10cm以上離れていること。 ※前照灯の取付高さ:地上0.5m以上
5. 容易に脱着できない構造であること。
6. 他の灯火との兼用を可とする(ただし、当該灯火の性能を損なう(基準不適合となる)兼用は不可)。
〈兼用不可の例〉 前照灯や尾灯との兼用 ※これらの灯火は常時点灯が求められるため

P11



現状のよくある自転車道における交差点問題

- ✓ 双方向自転車道の交差点動線を法的に単純化するため、交差点付近で自転車道を打ち切り、自転車通行可の歩道とする設計は多い。
- ✓ 歩道部分では、自転車には徐行義務が課せられるが、実態は守られていない。
- ✓ 今後、自転車道は特定小型原付の通行空間ともなること、特定小型原付の交通ルール順守については、解禁前から厳しい目が向けられていることを考慮すると、「守れるルール」に変えていくため、自転車道を連続化させる改修が必要となる。



ここからは自転車道
20km/hモード可
↑↑

自転車横断帯は？
20km/hモード可？

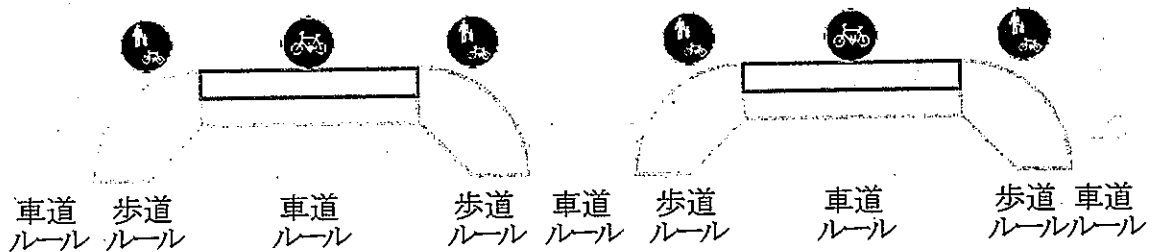
ここは歩道(自転車通行可)
← 6km/hモード限定

↑↑
ここまでは自転車道
20km/hモード可

自転車通行空間の直進性・連続性確保

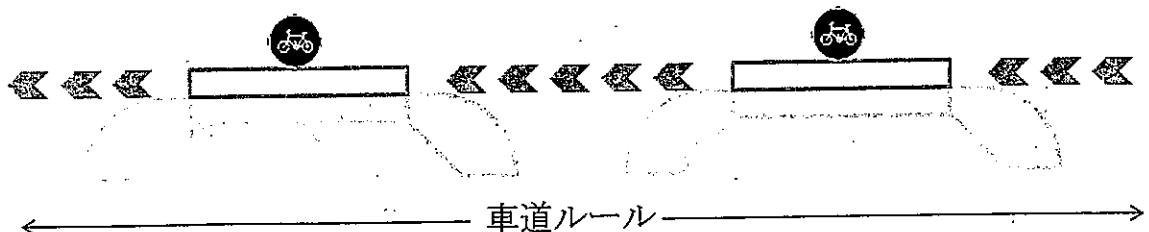
10年程前の設計 (自転車道をモデル整備)

= 交差点処理に悩み、交差点付近を歩道扱いに = 不連続

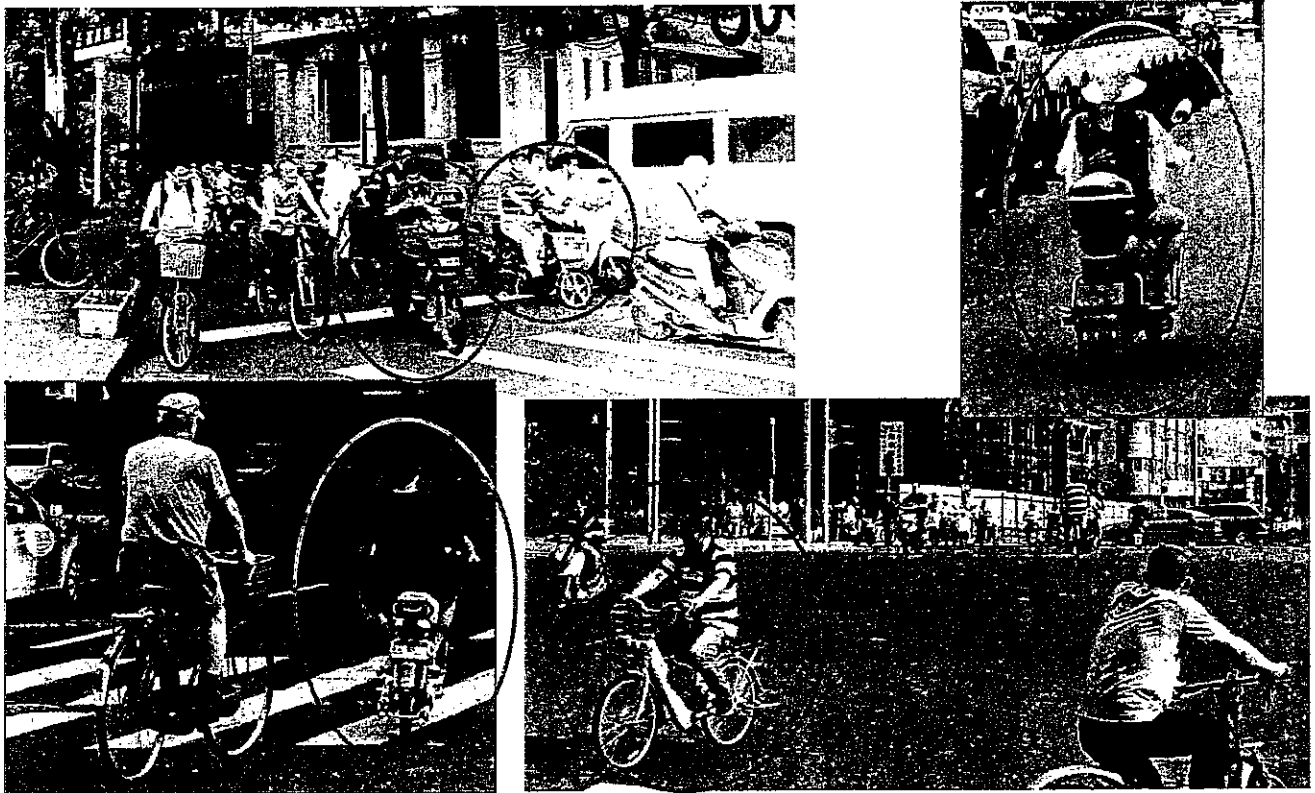


直進性・連続性を確保したの設計

= 交差点まで連続して、車道扱いで通行できる設計へ



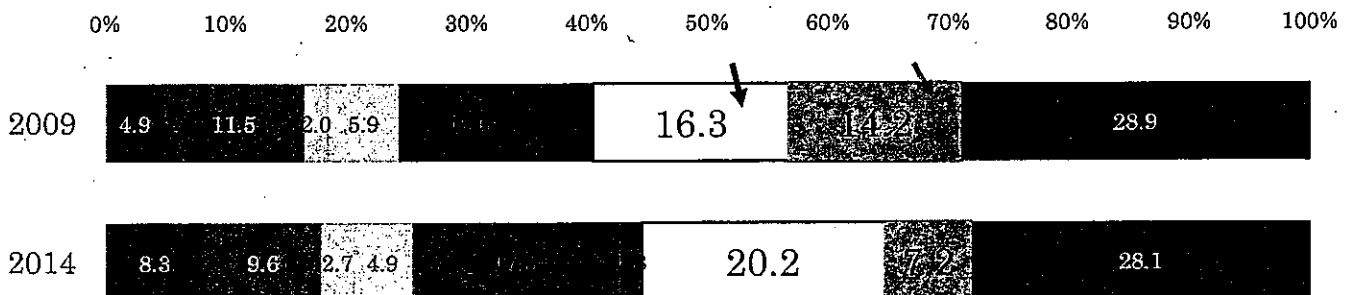
上海の街角に見る、類似ののりもの (2015年撮影)



電動自転車の普及状況

・ 2000年以前から、電動自転車が使われていた上海では、年々、電動自転車の分担率が大きくなり、2014年にはペダル自転車の約3倍となっている。

上海市の交通分担率の変化 (全目的)

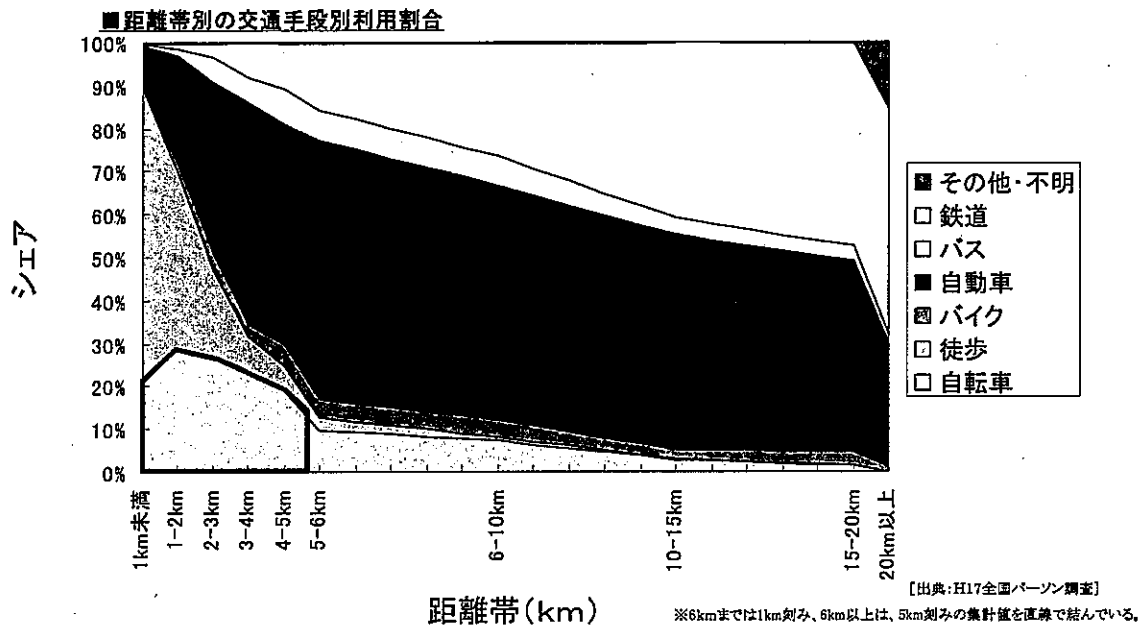


■ 軌道 ■ 公共汽車 □ 送迎バス □ タクシー ■ 自家用車 ■ オートバイ □ 電動自転車 □ ペダル自転車 ■ 歩行

出展: 上海市第五次綜合交通調査成果報告

距離帯で見た自転車の分担範囲（日本）

- 5km未満の距離帯では自転車が交通手段の2割程度を担っており、都市交通手段の一翼を担っている。



距離帯で見た自転車、電動自転車の分担範囲（上海）

- 5km未満の距離帯ではペダル自転車が自家用車の分担率を上回っているが、それ以上に、電動自転車の利用が多い。
- 自家用車が電動自転車を超えるのは7km超

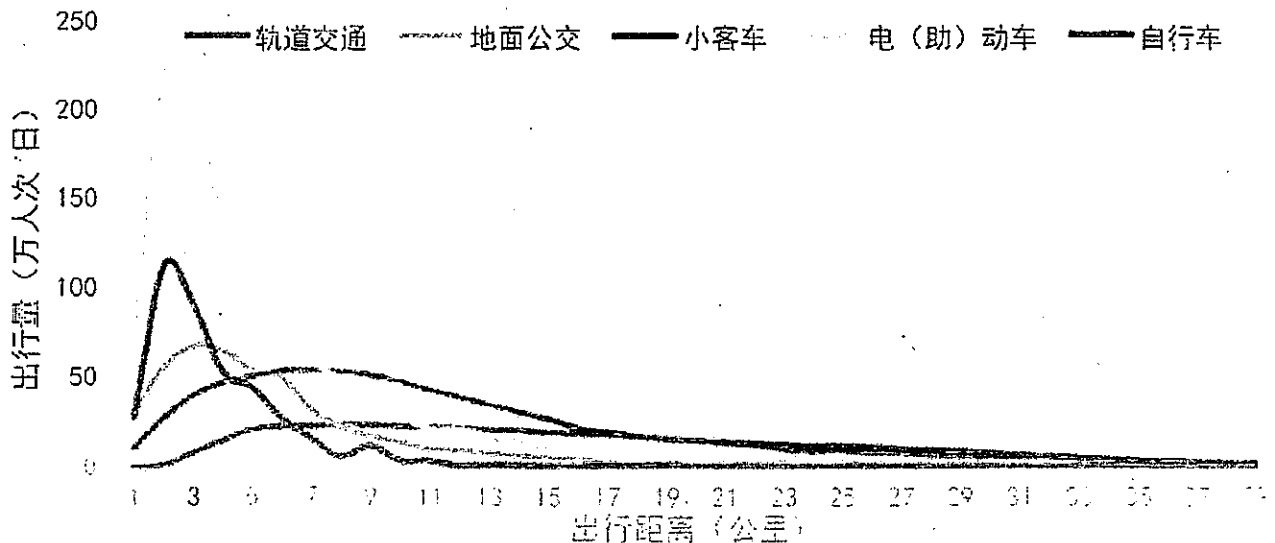


图 6-12 2014 年全市主要方式出行距离分布曲线

電動キックボードの課題と対応(フランス)

電動キックボードの走行を規制する政令を施行

(フランス)



パリ発

2019年11月05日

フランス政府は10月25日、電動キックボードなど電動パーソナルモビリティ機器の走行規制に関する政令 [を公布](#)した。電動キックボードを運転できるのは12歳以上で、2人乗りは禁止する。歩道での走行は禁止で、市街地では自転車専用レーンに限られるが、専用レーンがない場合は時速50キロ以内に制限されている車道に限り走行を認める。電動キックボードの最高時速が25キロ以下に制限されている必要があり、2020年7月1日以降はライトやブレーキなどの装備も義務付けられる。

同政令は、各市町村長に対し、走行可能区域について地域の実情に合った適用除外措置を設ける権限を付与しており、時速80キロ以内に制限されている車道における走行を例外的に認可することも可能とするが、その場合はヘルメットの着用を義務付ける。

歩道の走行は135ユーロの罰金、2人乗りなどは35ユーロの罰金としている。また、最高時速が25キロを超える電動キックボードで走行すると、1,500ユーロの罰金となる。

同政令は10月26日から施行されたが、前述の電動キックボードの装備に関する条項については2020年7月1日を適用開始日とする。

なお、パリ市では、電動キックボードのシェアリングサービスの普及に伴う、事故の多発や無秩序な駐車が問題となったため、国の規制に先立ち、パリ市独自の対策 [を](#)として7月から既に規定の駐車スペース以外の駐車を禁止し、最高時速度を20キロ、混雑している箇所では時速8キロに制限している。

(奥山直子)

(フランス)

ビジネス短信 08e284883b5152ed

トップページ / 暮らし・経済 / まちづくり・交通 / 交通・道路・自転車

自転車 / 自転車のまちづくり

「第9回自転車利用環境向上会議 in さいたま」の開催について

[一つ前に見えていたページに戻る](#)

更新日付: 2022年11月1日 / ページ番号: 0091093

「第9回自転車利用環境向上会議 in さいたま」の開催について

[このページを印刷する](#)



自転車利用環境向上会議は、自転車を通じて人々の「幸せ」と「生活の質の向上」を目指し、全国各地の自転車関連の取組を広く発信・共有するとともに、具体的な「自転車まちづくり」につなげていくための全国会議で、第9回会議を埼玉県さいたま市で開催いたします。

新型コロナウイルス感染症の影響により、社会が変化し続けるなかで、「持続可能な開発目標」(SDGs)、「カーボンニュートラル」に取り組むにあたり、自転車は環境に優しく、人との接触を低減する移動手段であるとともに、健康増進や地域振興などにも利用もできることから、これまで以上に注目されています。また、自転車通行空間整備等の安全対策の推進や、交通安全教育等、「自転車の安全利用」の重要性が高まっています。今回の会議では、MaaS・デジタル化の進展や、モビリティの多様化が進むことも見据えつつ、「安全で持続可能なモビリティライフと自転車」について、「自転車のまち さいたま」から発信していきます。

自転車利用環境向上会議の詳細については「自転車利用環境向上会議WEBサイト」をご覧ください。

過去の開催実績などをご覧ください。

[自転車利用環境向上会議WEBサイト](#) (新しいウィンドウで開きます)

会議当日の会場レイアウト及び各プログラムの開催会場について

【会場参加される方へ】

開催当日の受付場所や各分科会会場が確定しましたので、下記ファイルよりご確認ください。

会場エリアマップ／第9回自転車利用環境向上会議 in さいたま (PDF形式 884キロバイト)

各プログラムの実施会場／第9回自転車利用環境向上会議 in さいたま (PDF形式 108キロバイト)

1 開催概要

1 日程

令和4年11月4日(金)、5日(土)

2 会場

RaiBoc Hall (さいたま市民会館おおみや) (GoogleMAPで開きます)

大宮駅東口より徒歩3分

3 会議コンセプト

安全で持続可能なモビリティライフと自転車 ~Beyond the COVID19新時代の自転車ライフ~

4 開催プログラム

11月4日(金) 全体会議(基調講演、パネルディスカッション等)／ポスターセッション／企業展示ブース

5日(土) テーマ毎の分科会／ポスターセッション／企業展示ブース／現地視察・散走体験

5 会議の開催方法

会場参加(リアル)とリモート参加(オンライン)の両方を活用したハイブリット形式で開催いたします。

2 会議の参加方法・参加費

1 参加方法

【現地参加】

会場に直接お越しいただき、会議にご参加いただけます。

【リモート参加】

オンライン会議アプリを活用し、リモートにて会議にご参加いただけます。

なお、ポスターセッション・企業出展ブースのご観覧、現地視察・散走体験へのご参加はいただけません。

・使用アプリ：Zoom (ウェビナー機能を使用予定)

・参加登録：参加申込時に登録いただいたメールアドレスへ、会議開催の1週間ほど前にZoomウェビナーの事前登録に関するメールをお送りいたしますので、ご自身で事前登録をしていただけます。

※通信状況により映像や音声に乱れ等が生じる場合がございます。ご了承ください。

※オンデマンド配信について

会議の様子は開催後日、オンデマンド配信 (YouTube) を予定しております。

現地参加・リモート参加どちらの方法で参加されても、オンデマンド配信をご視聴いただけます。

2 参加費

1,000円 (現地参加、リモート参加共通 事前徴収)

支払方法により手数料をご負担いただく場合がございます。詳細は下記申込フォームにてご確認ください。

3 申込方法

以下のURLよりお申込み下さい (申込締切：10月31日(月) ※当初は10月21日(金) 締切でしたが延長しました)

【会場参加の申込フォームはコチラ】 (新しいウィンドウで開きます)

※会場参加は最大700名まで、申込先着順。

【リモート参加の申込フォームはコチラ】（新しいウィンドウで開きます）

4 プログラム詳細

【1日目】 11月4日（金）/全体会議 会場：大ホール

時刻	内容
11:00～	受付開始（7Fホール）
13:00～13:15	オープニング 主催者挨拶／来賓挨拶
13:15～13:55	基調講演1.「自転車活用推進計画」国土交通省自転車活用推進本部事務局 基調講演2.「自転車の安全利用」警察庁 交通局 交通企画課
14:05～15:20	パネルディスカッション【第1部】 ・コロナ禍における海外の自転車活用推進事例 1) フランス：パリの自転車革命：アンヌ・イダルゴ市長の決意 ・マリオン・ラガディック（オックスフォード大学院） 2) オランダ：自転車政策を進める際の世論形成の手法について ・ルーカス・ハームズ（DCE代表理事） ・海外事例紹介を受けてのトークセッション ・上記の海外スピーカー2名 ・三国千秋（JCC全国委員会監事、地球の友・金沢、北陸大学） ・大森宣暁（宇都宮大学） ・吉田長裕（JCC全国委員会幹事、大阪公立大学）
15:30～16:45	パネルディスカッション【第2部】 ・テーマ：「これから日本が取り組むべき自転車活用推進政策とは」 （さいたま市から発信するこれからのモビリティライフ） ・金籠史彦（自転車活用推進本部事務局次長） ・ピーター・テルプストラ（オランダ大使館 経済部公使参事官） ・清水勇人（さいたま市長） ・小林成基（JCC全国委員会副会長、自転車活用推進研究会理事長） ・片山右京（ジャパンサイクルリーグチェアマン） ・楠田悦子（モビリティジャーナリスト） ※第1部、第2部の司会・通訳：アンドレア・ボンビリオ（プロデューサー・TV/ラジオプレゼンター）
16:45～18:15	ポスターセッション（4F展示室）及び 企業団体展示ブース（7Fホワイエ）自由閲覧・交流
19:00～20:30	レセプション※（別途申込／有料） ※主催：自転車利用環境向上会議全国委員会 会場：東天紅JACK大宮店 【レセプション申込受付等についてはコチラ】（新しいウィンドウで開きます）

※ポスターセッション及び企業展示ブースは11:00から18:15までご覧いただけます。

【2日目】 11月5日（土）/1. 分科会・全体会議 会場：大ホール、小ホール、第1集会室など

時刻	内容
9:15～10:35	分科会【第1部】 1. 自転車通行環境整備 ～自転車歩行者道が作られ続ける背景を探る～ 2. シェアサイクル事業のあり方 ～今、改めて問う、シェアサイクルの効果とは～ 3. サイクルツーリズム ～成果を生む要は？～
10:55～12:15	分科会【第2部】 4. 自ら楽しく学ぶ自転車安全利用 ～新しい自転車教育のあり方～ 5. 交通ネットワークの一員としての自転車 ～自転車に何ができるのか～ 6. 「次、何しよう？」のヒント 自転車活用推進の事例とツボ ～さいたま市等自治体を題材として～

12:30~13:30 全体会議：分科会報告及びまとめなど（大ホール）

※分科会については、申込時に第1部、第2部からそれぞれご希望のテーマをお選び下さい。

※各分科会への登壇者等詳細については以下のファイルをご覧ください。

分科会登壇者等詳細（R4向上会議）（PDF形式 330キロバイト）

※ポスターセッション及び企業展示ブースは9:15から14:15までご覧いただけます。

【2日目】 11月5日（土）/2. 現地視察・散走体験（予定） 《希望者のみ・申込先着順》

内容	詳細	開始/終了	参加費用	定員
散走体験	さいたま市の歴史に触れる街中散走体験 見沼田んぼをはじめとした大宮周辺の歴史に触れるスポットをシェアサイクルで巡ります。 （シェアサイクルを 利用） （おおよそ10km、会場周辺スタート、ゴールを予定、シェアサイクルは主催者で用意いたします。） ※動きやすい服装、靴でご参加ください。 ※当日、荷物は会議会場に預けることができます。	開始 14:30 終了 16:30	1,000円	20名
サイクルフェスタ会場視察1	マルチモビリティ実証実験の視察・説明会 さいたま市では電動アシスト付自転車、スクーター、超小型EV等の複数のモビリティのシェアリング実証実験を行っています。市の担当者、シェアモビリティの運営事業者（Openstreet株式会社他）による説明、及びモビリティ実車等の視察をサイクルフェスタ会場で行います。 （参考：さいたま市シェア型マルチモビリティ実証実験（新しいウィンドウで開きます）（新しいウィンドウで開きます）） ※視察会場への移動は参加者各自となります。なお、視察会場は会議会場から電車と徒歩で約30分程度となります。	開始 15:00 終了 16:00	無料	30名
サイクルフェスタ会場視察2	デンマーク式自転車教室の視察・体験 幼少期からの自転車教育手段として注目されている「デンマーク式自転車教室」を視察いただきます。 また、国内で数多くのデンマーク式自転車教室の実施に携わっている市民自転車学校プロジェクトの藤本様による概要説明と、「デンマーク式自転車教室」の実地体験を含む内容となっております。 ※視察会場への移動は参加者各自となります。なお、視察会場は会議会場から電車と徒歩で約30分程度となります。 ※動きやすい服装、靴でご参加ください。	開始 15:00 終了 16:30	無料	30名

※天候によって、中止となる場合がございます。

※集合場所等詳細につきましては、決定次第お申込みをいただいた方に後日ご連絡いたします。

【プログラムは変更する場合があります。変更した場合、当ページにて随時内容を更新いたします。】

5 その他

・ポスターセッション及び企業展示ブースの募集について

全国の自転車に関する取組について発表、意見交換することを目的としたポスターセッション及び企業展示ブースへの出展を募集します。
出展をご希望の方は、以下の自転車利用環境向上会議のHPよりお申込み下さい。

【ポスターセッション出展申込はこちら】（新しいウィンドウで開きます）

【企業展示ブース出展申込はこちら】（新しいウィンドウで開きます）

・「ツール・ド・フランス さいたまクリテリウム」「2022サイクルフェスタ」イベントのご紹介

本会議と同時期に開催する自転車イベントをご紹介します。

本会議と会場も近く、ご自由にご覧いただけます。是非あわせてお楽しみください。